

株式会社 しんこう

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間： 2023 年5月1日 ～ 2024 年4月30日)



作成日： 2024年6月12日

目 次

項 目	ページ
1.ごあいさつ	3
2.環境経営方針	3
3.組織の概要	4
4.事業の紹介	4
5.環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
6.主な環境負荷の実績	6
7.環境経営目標及びその実績	6
8.環境経営計画の取組結果とその評価	7
9.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無	11
10.これまでの環境活動の紹介	12
11.代表者による全体の評価と見直し・指示	13



1.ごあいさつ

当社は昭和53年に電気工事施工管理業を創業し、その後、平成元年に現在の「株式会社しんこう」へ社名変更して、今年で創業46年目となります。これもひとえに皆様のご愛顧、ご支援の賜物であると感謝しております。

私達を取り巻く環境も大きく変わり、大規模な自然災害や気候変動に伴う異常気象、オゾン層の破壊、地球温暖化等の環境問題、原子力発電所の事故によるエネルギー問題等、人類共通の課題に対して、その配慮が欠かせないものとなり、責任も大きくなっています。当社はこれからも電気工事施工管理業を担う企業として、業務を通して環境に配慮した施工材料の提案や管理等を提供できますよう、知識と技術の取得に努め、地域の期待や要望に真摯に向き合っておりまます。

環境経営方針

環境経営理念

株式会社しんこうは、企業経営に伴う環境負荷について真摯に受け止め、環境負荷の低減、資源の有効利用、リサイクルを推進するとともに、環境経営システムの継続的改善に取り組む、地球環境の維持に努めます。

環境保全への行動指針

1. 当社の事業活動に関わる環境関連法令・規則・条例等を遵守します。
2. 節電・エコドライブの推進に努め、CO₂排出の削減に取り組みます。
3. 事業所及び現場から排出する廃棄物の削減、分別の徹底・リサイクルの推進に努めます。
4. 事業所及び現場においての節水、水使用量の削減に努めます。
5. 現場における化学物質（塗料、シンナー等）の適正な維持管理に努めます。
6. 材料・工具・事務用品等のグリーン購入に努めます。
7. 設計・施工に際して 省エネ商品の提案及び環境に配慮した施工の情報を積極的に収集・提供します。
8. 地域建設業協会や自治体の主催する清掃活動等に積極的に参加します。
9. 基本理念・活動指針及び具体的な活動方針等を、全社員及び協力会社作業員に周知徹底します。

改訂日：2023年6月10日

制定日：2021年5月3日

代表取締役 **木村 大**

3.組織の概要

(1) 事業者名

株式会社 しんこう
代表取締役 木村 大

(2) 所在地

本 社 兵庫県西宮市城ヶ堀町2番22号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者	工事主任	三楠 仁	TEL : (0798)-37-1333
担当者	総務部	水本 正子	TEL : (0798)-37-1333

(4) 事業内容

電気工事設計及び施工、施工管理、請負

(5) 事業の規模

従業員	5 名	
延べ床面積	57 m ²	※ 2023年7月1日より同住所同ビル内で本社移動 移動後の延べ床面積は75m ²

(6) 事業年度

5 月 1 日 ~ 4 月 30 日

認証・登録の対象組織・活動

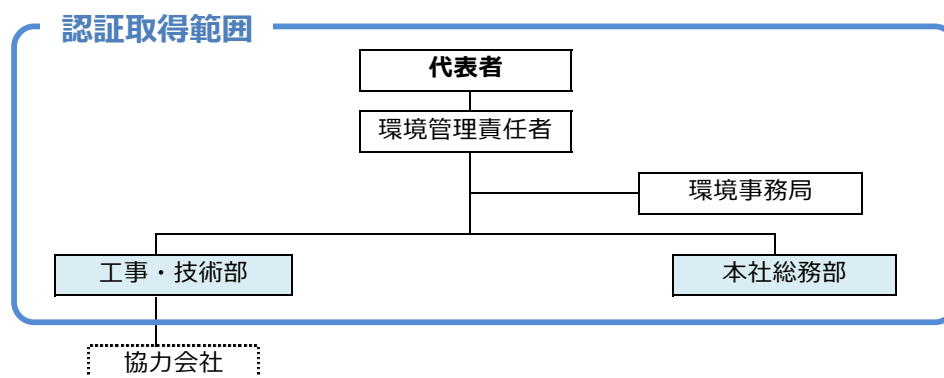
登録組織名：	株式会社 しんこう
対象事業所：	本社
活動：	全活動（電気工事設計及び施工、施工管理、請負）

4.事業の紹介

電気工事現場の一例



5.環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境経営活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付） ・文書・記録のクロス、ダブルチェック（⇔本社総務部）
本社総務部	・社内における環境経営方針の周知 ・社内の従業員に対する教育訓練の実施 ・社内に関連する環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告 ・社内に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・社内の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・文書・記録のクロス、ダブルチェック（⇔環境管理事務局）
工事・技術部	・環境経営活動計画の実施と推進 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施 ・試行・訓練を実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営活動へ参加
協力会社	・環境経営方針や取り組みに関し周知し理解と協力を要請 ・環境教育資料に基づいた協働作業の徹底

6. 主な環境負荷の実績

	単位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂ /年	8,568	5,068	4,106
電気使用量	kWh/年	5,929	6,741	8,025
ガソリン使用量	L/年	2,625	1,076	324
廃棄物排出量	Kg/年	1,972	1,252	1,035

※電力の二酸化炭素排出係数 0.418 kg-CO₂/kWh 平成29年関西電力の調整後の係数

7. 環境経営目標及びその実績

			基準年 実績	2023年度 目標	2023年度 結果	達成率	評価	2024年度 目標	2025年度 目標
	電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂ /kWh	1,876	1,876	3,354	56%	×	2,813	2,813
※1	・電力（事務所）使用量の削減	kWh	4,499	4,499	8,025	56%	×	6,741	6,741
※2	自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂ /km	0.282	0.276	0.267	102%	○	0.282	0.282
※2	・ガソリン使用量の削減	L	2,242	-	324	-	-	-	-
	・軽油使用量の削減	L	0	0	0	-	-	0	0
※1	電力（現場）使用量の削減	5段階評価	5	5	5	100%	○	5	5
	一般廃棄物の削減	Kg	207	207	205	101%	○	207	207
※3	産業廃棄物排出量の削減	5段階評価	5	5	5	100%	○	5	5
※4	建設副産物の再資源化率向上	5段階評価	5	5	5	100%	○	5	5
※5	水使用量の削減	5段階評価	5	5	5	100%	○	5	5
※6	溶剤使用量削減（適正管理）	5段階評価	5	5	5	100%	○	5	5
	環境に配慮した工事推進	件数評価	7	7	7	100%	○	7	7
	課題解決しチャンスを活かす取組	件数評価	4	4	5	125%	○	4	4

把握困難（下記事由により行動目標とする）

- ※1 工事現場での使用電力量は、現場の電気を建築工事で一括契約しており各業者の共通仮設費の内に含まれるため、個別計測はできない。
- ※2 工事現場での化石燃料使用量にリースが含まれている。
ガソリンの排出係数は排出係数（0.0671kg-CO₂/MJ）と単位発熱量（C）は34.6(MJ/l)を使用した。
2022年度より、自動車燃料の削減は燃費計算をもとに評価している。
- ※3 廃棄物は竣工時に元請としてまとめて処理している。削減に対しては下請を指導しており、数値目標は設定しないが行動目標の実施を目標とした。
- ※4 同上。
- ※5 総排水量、水使用量は、本社事務所はテナント管理であるため把握できず、現場は仮設分担金に含まれる。
- ※6 化学物質の保管はなく、工事現場での塗装工事が該当するが、外注のため当社は施工監督のみである。

※達成率…目標/実績（％）

100～90%以上＝「○」目標達成、90～80%以下＝「△」是正検討する、79%以下＝「×」是正対象とする

8.環境経営計画の取組結果とその評価

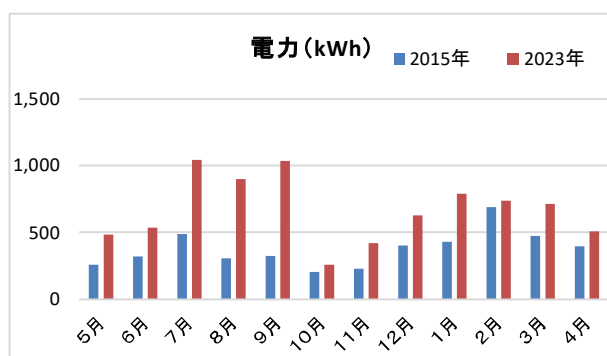
数値目標：○…達成 ×…未達成

活動：○…よくできた △…あまりできなかった ×…全くできなかった

行動目標：5段階評価 1…できなかった/2…ややできなかった/3…どちらともいえない/4…ややできた/5…できた

基準年度…2015年、2019年（課題を解決しチャンスを活かす取組）

電力による二酸化炭素削減（事務所）										評価： ×		
行動目標					達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容						
照明器具の定期清掃の実施					○	冷暖房の使用頻度が増えている。夏場の設定温度は28度、冬場も20度を超えないようチェックする。今年度7月は本社移転のため移転前後の二か所分、8月、9月はOA機器類の再設定による電気使用があり、目標達成の大きな足かせとなった。原因がはっきりしているため是正はしない。						
空調設定温度の目標達成に努める					△							
照明の明るさや点灯時間を調整する					△							
昼休み一斉消灯の実施					○							
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2015年	258	320	486	306	321	201	225	400	429	685	472	396
2023年	480	532	1,041	898	1,031	258	420	627	787	735	709	507
										合計	2015年	4,499
											2023年	8,025
▼取組紹介												



▼取組紹介

L E D照明の利用

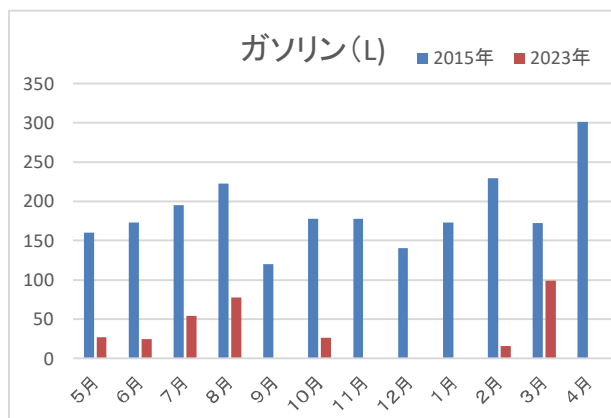


電力による二酸化炭素削減（現場）										評価：○			
		行動目標				達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容						
		不要照明の消灯・削減				○	目標を達成した。来年度もこれを引き継いでいけるよう節電の推進などを実施していきたい。						
		事務機器の省エネ設定				○							
		現場事務所の空調温度設定の見直し				○							
行 動 目 標 （ 5 段 階 評 価 ）													
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
2015年	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
2023年	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	

自動車燃料による二酸化炭素削減				評価：	○
数値目標	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容			
急発進を行わない	○	目標を達成した。現場が近く社用車の使用頻度が低かった。来年度も引き続きエコドライブを心がけていきたい。			
エンジンプレーキの積極活用	○				
無用なアイドリングをストップする	○				

■使用ガソリン量（L）

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2015年	160	173	195	223	120	178	178	141	173	229	172	301
2023年	27	25	54	78	0	26	0	0	0	16	99	0
										合計 (L)	2015年 2,242	2023年 325



※自動車燃料の削減は燃費計算とし、評価している

・基準年度（2015年）

社内利用車3台の平均燃費

燃費 (km/ℓ) = 走行距離 (km) ÷ 給油量 (ℓ)

$$8.23 = 18,443 \div 2,241.95$$

1km走行でのCO2排出量 = 排出係数 (kg-CO₂/ℓ) ÷ 燃費

$$0.282 = 2.32 \div 8.23$$

・本年度（2023年）

社内利用車2台の平均燃費

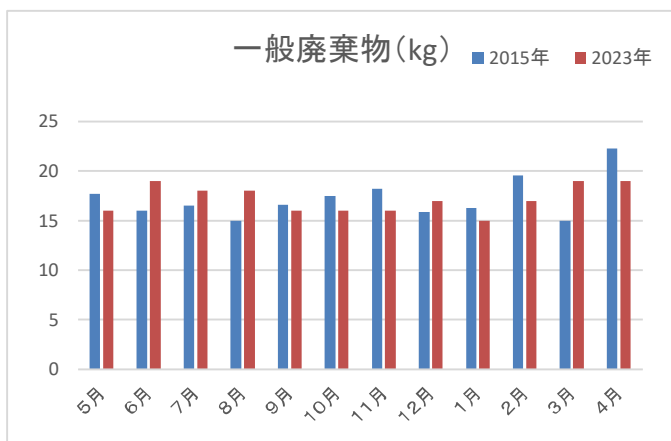
$$8.70 = 2,817 \div 323.96$$

$$0.267 = 2.32 \div 8.70$$

■燃費

基準年度比	
目標	98%
2023年	95%

一般廃棄物の削減										評価：○		
数値目標					達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容						
工事関連図書の電子化					○	目標を達成した。目標値との大きな乖離もなく、今後も引き続きこれを維持していけるよう留意していきたい。						
資料の両面コピーの徹底					○							
資料の数人での共有管理					○							
コピー機への裏紙専用トレイ利用					○							
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2015年	18	16	17	15	17	18	18	16	16	20	15	22
2023年	16	19	18	18	16	16	16	17	15	17	19	19



合計	2015年	207
	2023年	206

産業廃棄物の削減										評価：○			
GO 行動目標					達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容							
雑材・消耗品の見直し、削減					○	行動目標を達成できた。今後も資材発注量の見直しや整理整頓を行い、無駄のない施工を心がけていきたい。							
資材の寸法取りの適正化による無駄の削減					○								
資材倉庫の整理で無駄をなくす					○								
作業手順書作成時に材料も考慮する					○								
行 動 目 標 （ 5 段 階 評 価 ）													
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
2015年	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
2023年	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	

▼取組紹介

資材は用途別に分けて整理し、保管しています。

打合せ中に作業手順を共有し、材料に無駄がないか確認します。



12 資源の活用 削減の推進		建設副産物の再資源化率の向上								評価： ○		
∞		行動目標			達成状況	取組結果とその評価、次年度を取組内容						
		分別コンテナの設置			○	行動目標を達成。次年度もこれを継続していけるよう尽力したい。						
		再資源化率の高い処理業者の選択			○							
		分別の徹底			○							
行 動 目 標 （ 5 段 階 評 価 ）												
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2015年	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
2023年	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

▼取組紹介

現場では積極的に分別コンテナを設置してリサイクルを推進しています。



6 安全衛生 水資源の活用		水使用量の削減										評価： ○
💧		行動目標	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容								
		節水呼びかけの掲示	○	行動目標を達成できた。今後も引き続きこれを維持していけるよう留意していきたい。								
		食器のまとめ洗いの実施	○									
		退社時の止水確認	○									
		蛇口等の水漏れ点検を実施	○									

行 動 目 標 (5 段 階 評 価)												
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
2015年	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
2023年	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

▼取組紹介

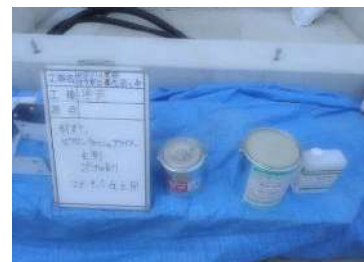
現場、事務所ともに節水に関する掲示をもうけて
無駄な水を使わない、止水確認などを促しています。



化学物質の適正管理										評価：○				
行動目標					達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容								
塗装会社に使用する塗料の使用量及び成分表を提出させる					○	行動目標を達成。 引き続き厳格な保管と管理を続けていく。また、代替物質が見つかった場合はそちらへ積極的に切り替えるよう指導する。								
工事中の塗料・シンナーの保管場所を指定					○									
刷毛洗い等に使用したシンナーの適正保管					○									
シーリング材・区画処理材の管理					○									
行 動 目 標 （ 5 段 階 評 価 ）														
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月		
2015年	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		
2023年	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		

▼取組紹介

塗料はあらかじめ置き場所を決めて転倒などを防いでいます。



9 環境に配慮した工事の推進										評価：○			
行動目標					達成状況		取組結果とその評価、次年度の取組内容						
LED照明・高効率照明への変換推進					○		行動目標を達成できた。また、環境に配慮した工事の推進について、工事件数での定量評価を追加した。目標を達成できている。今後も引き続きこれを維持していけるよう留意していきたい。						
センサー制御による節電の推進					○								
変電設備の高効率化の推進					○								
目 標 件 数													
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
2019年	3	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1	0	
2023年	3	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	
▼取組紹介										合計 (件)	2019年	7	
カタログを参考に仕入れ先との相談をして高効率の照明や他設備を使用するよう											2023年	7	

課題を解決しチャンスを活かす取組										評価：○			
行動目標					達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容							
社員の技術・継承と教育					○	目標を達成できた。順調に技術継承、教育のため現場会議などに監督員が作業員を同伴、新規採用のためにHP構築を実施している。							
新規採用に向けてHPを整備する					○								
求人サイトなどを活用した新規採用の強化					○								
目 標 件 数													
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
2019年	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	
2023年	1	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	
▼取組紹介										合計 (件)	2019年	4	
											2023年	5	

▼取組紹介

環境に配慮した製品の提案にはカタログなど具体例を提出しています。

9.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	主な規制事項（要求事項）	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	遵守評価
廃棄物処理法	産業廃棄物の適正処理、関連情報の表示、マニフェスト交付、マニフェストの保管… A、B2、D、E票（5年間）、D票（90日）、産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）	○
建設リサイクル法	対象建築工事の分別解体及び再資源化の義務付け、報告	解体工事、建設副産物	○
騒音規制法	規制基準の順守	掘削機、送風機	○
振動規制法	規制基準の順守	掘削機	○
フロン排出抑制法	業務用エアコンを対象とした目視点検（3カ月に1回）点検記録簿はエアコン廃棄後3年間保存	業務用エアコン	○
消防法（危険物）	危険物の貯蔵、取扱いについての規制基準の順守	危険物の保管	○
顧客要求事項	顧客の所有物の取扱いまたは管理	品質管理	○

- ・ 環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
- ・ なお、関係当局より違反等の指摘、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

10.これまでの環境活動の紹介



■現場内での金属分別コンテナ・撤去電線専用かごの設置

■現場周辺・地域清掃活動

11.代表者による全体の評価と見直し・指示

管理責任者の報告及び改善への提案

取組状況の 評価結果	数値目標（事務所の環境負荷）の達成状況は、電力は×、ガソリンは○、一般廃棄物は○であった。行動目標の達成状況は、水使用量は○であった。 【電力】 冷暖房の温度設定を徹底し、使用量を抑えていく。また、今期は本社の移転の影響があり、使用量に波があった。その他、現場の行動目標は達成であった。 【ガソリン】 燃費目標を達成している。是正処置は必要ないとした。エコドライブを励行している。 【一般廃棄物】 分別に努めた。また、現場周知のためにパンフレットも作成配布している。 【水使用量】 【化学物質の適正管理】 節水に努め、化学物質は適正な維持管理を続けている。目標計画には盛り込まれていないものの、材料や工具、事務用品等のグリーン購入は引き続き行っている。 【産業廃棄物】 現場の産業廃棄物の削減、建設副産物の再資源化率の向上、ともに行動目標を達成している。
問題点の是正・予防処置の状況	事務所電力が目標未達成であったが、冷暖房の設定温度、本社移転の影響が大きかった。その他は是正処置の必要なし。今後も目標達成を維持していく。
環境関連法規遵守の状況	遵守できている
環境コミュニケーション	苦情なし

代表者による見直し・指示

環境経営方針	変更の必要性 ■有 □無 （該当項目を■） 有の場合の変更内容：環境経営理念を見直し、「環境経営の継続的改善の誓約」を明記した。
環境経営目標・環境経営計画	環境経営目標・環境経営計画・環境経営システムの変更の必要性 ■有 □無 指示内容：環境経営目標・環境経営計画については、環境経営レポート(案)通り。基準年度が2015年度と古くなってきたため、来期は2022年度を基準年度とする。 環境経営システム・実施体制の変更：必要性なし

【総括】

EA21の認証・登録により、従業員が一丸となって環境経営活動へ真摯に取り組んでいる。行政の説明会でもEA21のことが話され、名刺のロゴマークが話題となる機会があり、環境に取り組んでいることで評価いただいた。顧客の見る目も変わってきている。

使用電力やガソリン削減の呼びかけや周知、教育の実施など、実施体制は機能している。来年もこれを維持していきたい。

電力による二酸化炭素削減目標が未達成となったが、冷暖房機器の設定温度の固定を励行、また、新事業所での使用電力量を把握しながら、来年以降もエネルギー削減へ取り組むよう指示した。

設計、施工の際には顧客への省エネ商品提案を行っているが、今後はより幅広い環境負荷低減の効果があがる施工方法や提案をできるようカタログのチェックや仕入先との相談を続けていきたい。